

登録コード	E1003900	開講年度	2026				
授業科目	子どもと言葉					担当教員	八木 雄一郎
英文授業名	Children and Language					副担当	
単位数	1	講義期間	後期(後半)	曜日・時限	火曜・4時限		対象学生
講義室	教育N 2 0 1 講義室			授業形態	講義	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	【授業の達成目標】
	2 6 Eカリ, 2 5 Eカリ, 2 4 Eカリ, 2 3 Eカリ, 2 2 Eカリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観					⇔	○幼稚園教諭に求められる対話能力、協調性、課題遂行能力を涵養することができる。
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能					⇔	○領域「言葉」を担う教諭としての専門知に立った教養と教育理念とを獲得することができる。
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	授業形式は、講義だけでなく、話し合いなどのグループワークも積極的に採り入れている。それらの活動を通して、「言葉」領域の教育の目標・内容・方法について、実践的・理論的に考究する。						
(5)授業計画	第 1 回：人間にとって言葉とは何か～幼児期における言語の獲得・発達～ 第 2 回：幼稚園における「国語教育」の位置づけ～他領域との関係、小学校との関係～ 第 3 回：「自分なりの言葉で表現」できるようになるために～幼児の言語表現～ 第 4 回：「相手の話す言葉を聞こうとする意欲や態度」を育てるために～幼児の言語コミュニケーション～ 第 5 回：「言葉に対する感覚」を養うために～幼児の言語感覚～ 第 6 回：絵本や物語に親しめるようになるために～幼児と読書～ 第 7 回：「言葉遊び」を楽しめるようになるために～幼児と言語文化～、授業アンケート 定期試験						
(6)成績評価の方法	筆記テストを通して、講義内容についての理解と考察の度を測る。 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。						
(7)成績評価の基準	授業内に課した課題と同レベルの問題が解ければ「水準にある」、応用問題が解ければ「やや上にある」、やや難しい応用問題が解ければ「かなり上にある」、授業内の課題からは難しい応用問題が解ければ「卓越している」						
(8)事前事後学習の内容	e-ALPSに講義資料を掲載するので、授業前後に閲覧し、予習・復習を怠らないこと。						
(9)履修上の注意	各回の授業は原則として前回の内容を踏まえて行うので、休まず参加されたい。						
(10)質問、相談への対応及び連絡先	空いている時間であればいつでも相談に応じます。 E-MAIL：yagi_yu@shinshu-u.ac.jp。 tel:026-238-4076						
【教科書】	文部科学省編『幼稚園教育要領解説』フレーベル館						
【参考文献】	授業内にて指示する。						